

TOKYO TODAY



Manfred Willman

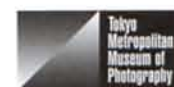
出品作家

ヤン・アルチュス・ベルトラン Yann Arthus-Bertrand
シビル・バグマン Sibylle Bergemann
アダム・ブジャク Adam Bujak
オレ・クリスチャンセン Ole Christensen
トーマス・ジョシュア・クーバー Thomas Joshua Cooper
ジョン・デモス John Demos
ニコス・エコノモポウロス Nikos Economopoulos
ジョアン・フォンクーベルタ Joan Fontcuberta
ゾルタン・ガール Zoltán Gáál
パオロ・ジオーリ Paolo Gioli
ハリー・グリュヤート Harry Gruyaert
アチレアス・ケントニス Achilles Kentonis
イボン・ランベルト Yvon Lambert
パウロ・ノゾリーノ Paulo Nozolino
ゲオルギ・ピンカショフ Georgui Pinkhassov
レオ・リーガン Leo Regan
瀬戸正人 SETO Masato
クラウド・スルバン Klavdij Sluban
須田慎太郎 SUDA Shintaro
ラース・トゥンビヨルク Lars Tunbjörk
ミシェル・バンデン・エクフォート Michel Vanden Eeckhoudt
ベルティアン・パン・マネン Bertien van Manen
マンフレッド・ウィルマン Manfred Willman
サミュエル・ズデル Samuel Züder

ヨーロッパの写真家が見た東京

1997年 3月8日[土]ー4月12日[土] 東京都写真美術館 2階企画展示室

観覧料 一般・大学生 600円(480円) 小・中・高校生 300円(240円)
常設展との共通観覧料
一般・大学生 1,000円(800円) 小・中・高校生 500円(400円)
いずれも()内は20名以上の団体料金。小学生未満、65歳以上の方、および障害のある方とその介護者1名は無料になります。(証明できるものをこ持参ください)
開館時間 10:00ー18:00(木・金曜日は20:00まで)入館は閉館の30分前まで
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌日)
講演会のお知らせ
日時 3月8日(土) 3:30ー5:30pm
会場 東京都写真美術館1階ホール
テーマ 「TOKYO TODAY」 入場無料、定員200名
講師 澤本徳美(日本大学芸術学部写真学科教授)
ロベール・デルピール(前フランス国立写真センター館長)
森本哲郎(EU・ジャパン フェスト日本委員会プログラム委員長)
出品作家
主催 東京都写真美術館/EU・ジャパン フェスト日本委員会/東京都
協力 日本財団/FUJIFILM/東武鉄道



東京都写真美術館

〒153 東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0031
1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153

展示会のご案内

ハローダイヤル 03(3272)8600
インターネット <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>
毎月第2、4金曜日の午後2時より当館学芸員によるフロア・レクチャーが行われます



Nikos Economopoulos



Samuel Züder



Yann Arthus-Bertrand



Harry Gruyaert



Klavdij Sluban



Sibylle Bergemann

この写真展は「現代東京の人間とくらし」をテーマに撮影された、ヨーロッパと東京の24名の写真家の作品で構成されています。ヨーロッパ側の写真家の選定を含め、芸術監督として前フランス国立写真センター館長のロベール・デルピール氏を迎え、日本側からは澤本徳美日本大学芸術学部教授に芸術副監督として参加していただきました。

現在、ヨーロッパでは「ひとつのヨーロッパ」に向けてEU加盟国のなかで様々な試みがなされています。「欧州文化首都」もその一つで、1985年に提唱されて以来、毎年EU加盟国の中から一都市が欧州文化大臣会議によって選ばれ、一年を通じて欧州文化首都として様々な文化、芸術に関する催しを行ってきました。1993年にヨーロッパ市場が統合されてからは、こうした活動もEU加盟国内にとどまらず、広く世界の国々に参加を呼びかけられることになりました。このような背景からEU・ジャパン フェスト日本委員会が設立され、日欧文化交流事業「EU・ジャパン フェスト」を実施しています。

この写真展は、1995年にキプロスのニコシアで開催された欧州文化首都ネットワーク会議の席上、コペンハーゲン96委員会によって提案されたものです。この写真展に出品している24名の写真家は、1985年から2000年までの16の欧州文化首都および1992年から1997年の6つの欧州文化月間都市(EU周辺国から毎年選出)を代表する22名の写真家に2人の東京在住の写真家を加えて構成されています。22名の写真家は、「現代東京の人間とくらし」をテーマに、それぞれが3週間わたりて東京に滞在し作品を制作しました。この3週間が十分な時間であったとは決して思われませんが、この写真展が22のヨーロッパの都市でも開催され、混沌とした20世紀末の東京の姿が、21世紀に向けて未来の都市生活を考えるうえで、私たちに何らかの示唆を与えているのではないかと考えられます。



SETO Masato



Leo Regan



Joan Fontcuberta



Michel Vanden Eeckhoudt

次回展覧会予告: 「ネイチャー・ワールド」展(4月19日~5月25日)